

平成27年9月10日

各 位

上場会社名 トミタ電機株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 神谷 哲郎
 (コード番号 6898)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 太田 寛
 (TEL 0857-22-8441)

営業外収益（為替差益）の計上、並びに、第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異、及び、通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年3月19日に公表いたしました平成28年1月期第2四半期累計期間（平成27年2月1日～平成27年7月31日）の業績予想値と実績値との差異、及び平成28年1月期通期業績予想を最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年1月期第2四半期連結累計期間（平成27年2月1日～平成27年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	942	10	12	9	1.51
実績値 (B)	817	△ 40	12	10	1.57
増減額 (B-A)	△ 124	△ 51	0	0	
増減率 (%)	△ 13.2	—	2.8	3.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年1月期第2四半期)	828	5	12	13	2.02

2. 平成28年1月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,949	56	58	53	8.13
今回修正予想(B)	1,824	4	59	53	8.18
増減額(B-A)	△ 124	△ 51	0	0	
増減率 (%)	△ 6.4	△ 91.7	0.6	0.6	
(ご参考)前期実績 (平成27年1月期)	1,892	53	198	197	29.94

3. 平成28年1月期第2四半期個別累計期間（平成27年2月1日～平成27年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	598	△ 46	△ 32	△ 34	△ 5.27
実績値 (B)	590	△ 61	4	2	0.33
増減額(B-A)	△ 8	△ 14	36	36	
増減率 (%)	△ 1.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年1月期第2四半期)	580	△ 56	△ 40	101	15.33

4. 平成28年1月期通期個別業績予想数値の修正（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,248	△ 67	△ 38	△ 43	△ 6.65
今回修正予想(B)	1,240	△ 82	△ 1	△ 6	△ 1.06
増減額(B-A)	△ 8	△ 15	37	37	
増減率 (%)	△ 0.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年1月期)	1,179	△ 109	67	208	31.59

5. 差異及び修正の理由

<連結業績>

平成28年1月期第2四半期累計期間につきましては、売上においてはコイルトランス販売は国内外市場で順調に推移したものの、フェライトコア販売は国内外ともに伸び悩み、特に海外市場向け通信機器分野は在庫調整のあおりを大きく受け、売上全体としてはほぼ前年並みの8億1千7百万円となりました。営業損益においては原価率の低減、経費等の削減に努めましたが円安基調に伴う仕入原価の上昇により、4千万円の損失計上となりました。経常損益・四半期純損益においては営業外損益における為替差益4千9百万円の計上により、ほぼ予想通りの収益計上となりました。

平成28年1月期通期業績予想につきましては、売上回復が見込まれるものの、売上は18億2千4百万円、営業利益は4百万円となる見込みです。経常損益・四半期純損益は前記と同様の理由により、ほぼ予想通りの収益計上となる見込みです。

<個別業績>

平成28年1月期第2四半期累計期間につきましては、売上においてはコイルトランス販売は順調に推移したものの、フェライトコア販売は国内外ともに伸び悩み、売上全体としては若干予想を下回りました。営業損益においては、円安基調に伴う仕入原価の上昇により損失幅が拡大いたしましたが、経常損益・四半期純損益においては営業外損益における為替差益4千9百万円の計上により、収益計上となりました。

平成28年1月期通期業績予想につきましては、引き続き厳しい経営環境が予想される中、売上確保、経費削減に努めることにより最小限の減収減益に収まる見込みです。

(注意事項)

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上